

新入社員紹介



総務経理部
深見 聖子

7月に入社しました総務経理部の深見です。
前職は私立高校の事務員、前々職は地方銀行に勤めていました。まさか、この年齢で未経験の業界に転職するとは思っていませんでした。
このご縁を大切に、日々勉強し、少しでも会社の力になれるよう頑張りたいと思います。
よろしくお願いいたします。

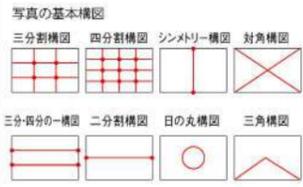
設計部研修報告

Photo seminar by CUCINA x cattelan italia

キッチンのクッチーナさん、家具のカッテラン・イタリャさん主催で建築写真家の田岡信樹さんによるスマホのフォトセミナーに参加し、映える写真の撮り方をパッチリ学んで来ました！
コツはシンプル。

- 写真の角度はスマホで見ることを見越して、縦か四角
- とにかく垂直を出す
- どれか構図に当てはめる以上

構図とはこれ →→→→→→→→



写真の基本構図を頭に浮かべ、自分なりの構図を意識してカッテラン・イタリャさんの家具をパッチリ。
三分の一とシンメトリーの構図を意識して…
コツを押さえることで写真の映えさが全然変わりますよ！お試しあれ。



B!-co
Build-communication
76
2022.10

皆様こんにちは、Bi-co編集部です。残暑の厳しい今日この頃です。今年も猛暑日が多く記録され、東京も猛暑日の日数が更新されました。また、10月は台風シーズンですので、水の災害が心配されます。

個人的に最も注目していた話題は、104年ぶりに大谷翔平選手が、二桁本塁打二桁勝利数を達成した事。日本人選手が、あのペーブルースに肩を並べた事に喜びを感じます。二年連続MVPを獲得することを願っています。

弊社においては、ビルド建築設計室のホームページを開設しました。お客様の目線に立ち、更なるステップアップを目指しています。また、コロナの行動制限解除後の感染予防におきましても、人に感染させない事をさらに意識して、ご難局を乗り越えていきます。
Tokai-Build NEWS 「Bi-co」編集部



株式会社 東海・ビルド

特定建設業許可 愛知県知事(特-2)第49209号 宅地建物取引業 知事(5)第18795号
東海・ビルド一般建築士事務所 住宅性能保証制度登録店
〒465-0008 名古屋市長東区猪子石原一丁目1307番地



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

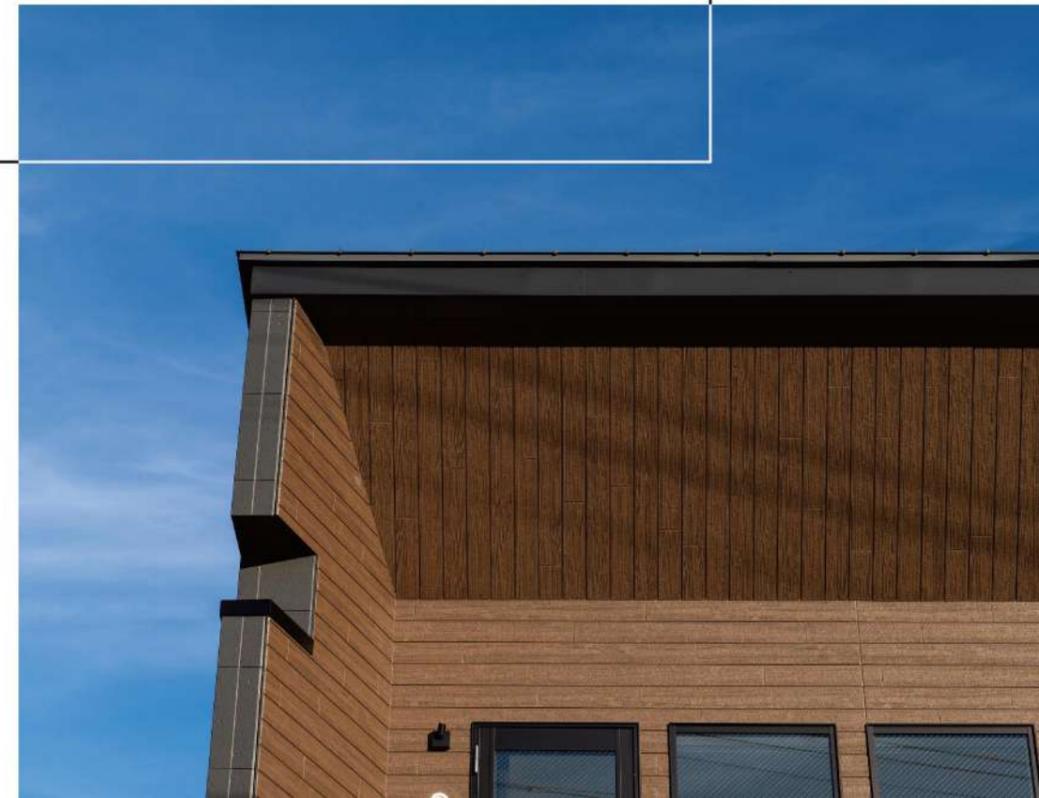
ビルド建築設計室/アーキビルド株式会社

一般建設業許可 愛知県知事(般-4)第110758号
〒465-0008 名古屋市長東区猪子石原一丁目1308番地



0120-152-421

formmail@tokai-build.com



ブランドール
Prendre

名古屋市緑区徳重1丁目721番地

敷地面積:438.21㎡(132.56坪)
用途地域:第一種住居地域 60%/200%
構造:木造

階数:2階建
施工床面積:495.89㎡(150.01坪)
間取り:3LDK+S 104.81㎡ 4戸

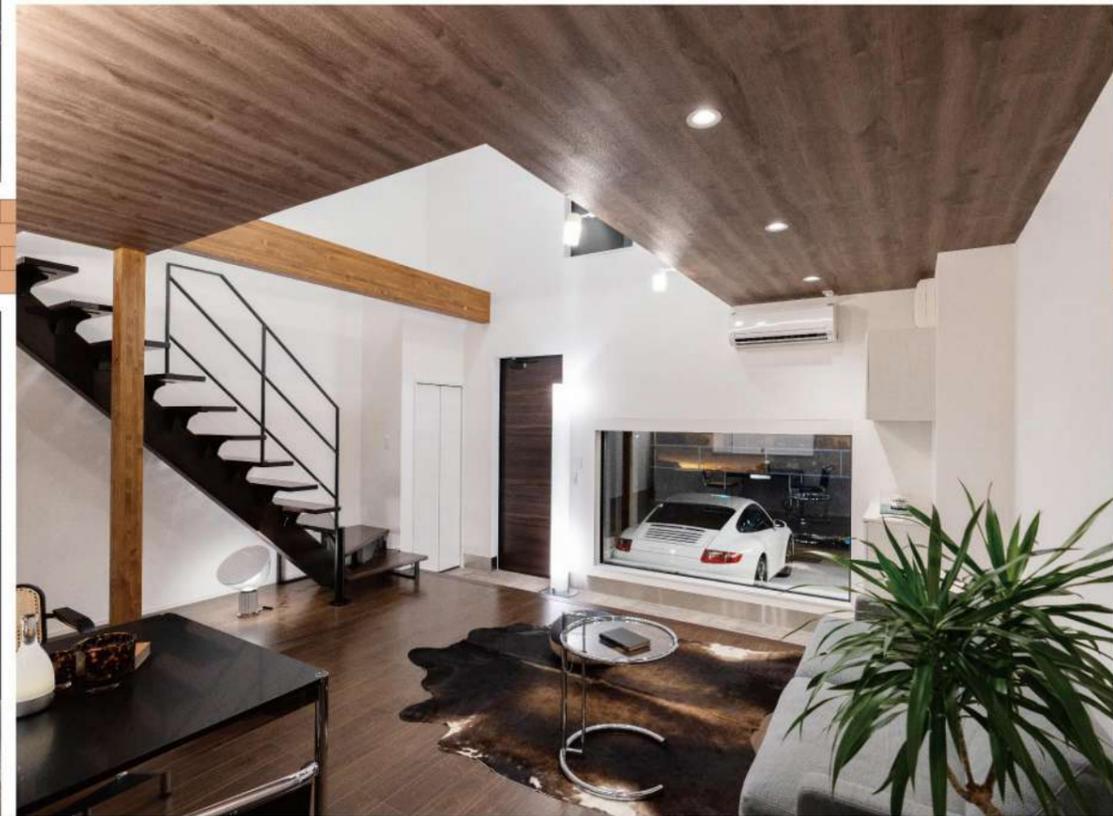
スマートフォンをご用意いただき
上記のQRコードより
動画を御覧ください。



concept 愛車と暮らす

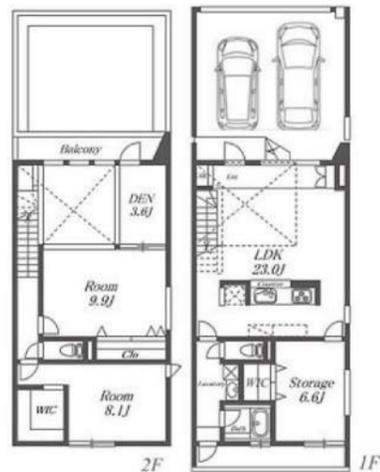
大好きな車を
眺めながら
暮らしたい。
そんな夢が叶う
テラスハウス。

約130坪の敷地に104㎡の
3LDK+書斎が4軒。
それぞれの住戸に自家用車2台の
専用ガレージ付き。



ガレージ付きだと
良い事がたくさん。

- 大切な
お車の防犯
- 雨の日でも
濡れない
- 大好きな車を
眺められる
リビング
- プライバシーも
抜群



建設地は北側道路。南側はかなり隣地の建物が近接している。南側隣地だと通常は以前の建物の様に南側に距離を取り採光を確保する。しかし、南側は建物が近接している為、北側窓からの自然光を吹抜けを通して居室に取り込むことを試みた。実際に1階も2階も十分明るい。

南からの光を積極的に採らなかつたため、結果として北側にスペースが生まれ、それが専用のガレージに。まったく無駄のない配置計画となった。



専用ガレージからつながるリビングは上へと展開し、吹抜けから注ぐ光は明るく開放感のある空間を生み出す。

夜の風景はまるで高級車のショールームの様。ちょっとした小物を飾れるニッチとマルティニ・レーシング風のサイン。



元々この場所に建っていたアパート



南隣地に
気になる建築が!!
実は2011年に弊社で
建てさせて頂いた
共同住宅。



Casa Scatola Motoyama



スマートフォンをご用意いただき
上記のQRコードより
動画を御覧ください。

名古屋市千種区猫洞通四丁目28番



1

- 1 シンメトリーモダンな外観。
- 2 斜めに持ち出したバルコニーのコンクリートの袖壁。
- 3 建物の外壁にシンデレラフィットしたモダンな鉢植え。
- 4 完全屋内で、カーペットタイル敷きの共用階段と共用廊下。
- 5 住戸の玄関に柔らかなアイストップとなるパーチカルブラインド。
- 6 玄関部の壁一面に張ったミラー。
- 7 3階のLDKは開放的なロフト付き。天井高さは3.7M。
- 8 10.5畳の広さを持つロフト空間。
- 9 階段下をOPENにし、多目的に活用できるメゾネット住戸の玄関。
- 10 メゾネット住戸のLDK。こちらもロフト付で天井高3.7M。



7

計画地は地下鉄 東山線 本山駅徒歩7分の猫洞通沿い。
敷地は西側道路で、間口11m、奥行22m、74坪の整形地。

1階を貸店舗、2・3階を賃貸マンションとし、建蔽率は約80%、建物高さは日影規制をクリアできる限界まで高くし、3階部分の住戸の天井高さ3.7m、ロフト付とすることで差別化を図った。専有面積を最大限確保するため、共用部分を建物中心に集め、必然的にシンメトリーな外観や、完全屋内の共用廊下となった。全9戸の賃貸マンション部分は、ロフト付1LDKや1R、メゾネット+ロフトの住戸等バリエーション豊かな構成。

賞を取るほどのデザイナーズマンションを所有されているオーナー様と初めてタッグを組んで進めさせていただいたプロジェクト。ミラーの使い方や、住宅設備の細部の仕様等、インテリアでも新しい試みが随所に散りばめられたマンションが完成した。

天井高さ3.7M

圧巻の内部空間



2



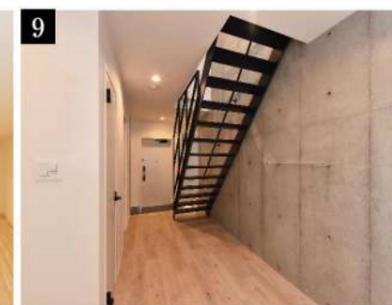
3



設計/東海・ビルド一級建築士事務所
施工/株式会社東海・ビルド
構造:鉄筋コンクリート造3階建
面積:敷地面積/244.62㎡(74.00坪)
建築面積/193.54㎡(58.55坪)
延床面積/517.83㎡(156.64坪)



8



9



10

02

全く画一的でなく、
共同住宅に見えない
東側外観夕景。



計画地

は地下鉄

覚王山駅すぐ

という好立地。

敷地は北側道路

で、東・南隣地が3~5m

の崖に囲まれた60坪の敷地。

構造をRC造とし、1階部分に
開口部を設けないことで、愛知県の
崖条例をクリアした。

この特殊な敷地条件と相まって、4階建
での建物の中に全てがメゾネットタイプ住戸を
6世帯、立体パズルのように組み合わせた。

1階から入り、2階へ上がる住戸や、2階から入り、1階へ
下がる住戸など、それぞれ特徴的な間取りの住戸が出来
上がった。



崖に囲まれた敷地



2020年に竣工したplus M MOTUYAMA



完成予想パース

★現在すぐ南の隣地にてplus M KAKUOZAN IIを施工中。こちらは11月竣工予定。



101室

201室

301室



302室

303室

plus M KAKUOZAN I

名古屋市千種区堀割町二丁目47番

設計:東海・ビルド一級建築士事務所
施工:株式会社東海・ビルド

構造:鉄筋コンクリート造4階建
面積:敷地面積/200.73㎡(60.72坪)
建築面積/118.69㎡(35.90坪)
延床面積/412.43㎡(124.76坪)

plus M MOTUYAMAに続いて、 竣工したplus Mシリーズ第2弾。

<工事部コメント>

打ち放しコンクリートと真っ白な塗装仕上げを融合させた洗練されたスタイリッシュなマンションを担当させていただいた。特に注意したのが洗練されたデザインを損なうことなく施工するため、端部をスクエアでシャープな仕上がりにすること。

設計図面では読み取れない箇所をパースやオーナー様との打ち合わせによるイメージを参考に何度もディテール、細部の図面を作成した。今回のオーナー様は2棟目の建築となるが大変よろこんでいただくことができた。現在、3棟目をすでに施工中であるが、さらに洗練された建物を提供できるよう日々研究して施工をしたい。

01

コンクリートのボックスが
宙に浮いたようなユニークな外観。



08

3階から入る
北側住戸の301室。
大容量のミラー付き
玄関収納のある
ゆったりとした玄関。



06

3階から入る
南側住戸の
303室の玄関。



07

303室の4階LDK。
一枚毎に幅の違う
フロア材が
インテリアのアクセント。



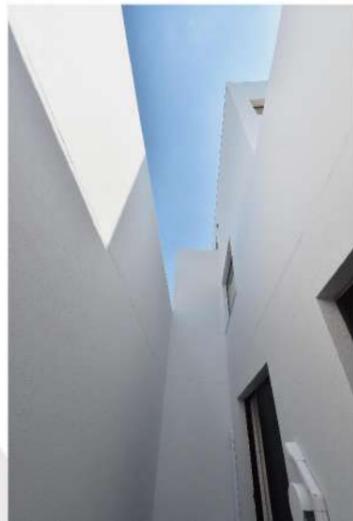
04

北側住戸の101室の
2階に上がると、
天井まである窓から
光が差し込む。



05

04の窓の外側は、
吹き抜けの
プライベート
ルーフトラス。



09

階段と吹き抜けから
気持ちのいい
光が降り注ぐ
301室のDK。



トータルバランス + デザイン

今回のオーナー様は、以前弊社にて建築して頂いたお客様からのご紹介で御縁を頂いた。

建物の構成は…。1階がオーナー様の事務所、2・3階が各1住戸。事務所と住戸用の駐車場を南側の前面道路から出入りすることを考えると、おのずと建物配置と規模が決まった。

異なる用途(事務所+住戸)のハード面とソフト面を、どのように整理していくかも重要であり、トータルバランスを重点にデザイン性を加え、設計を進めた。

アプローチは、事務所と住戸で兼用となるため、木目調タイル等を使用し演出。

1階の事務所は、白い壁にモノトーンの床というオーソドックスなオフィスではなく、カフェやバーといった少しカジュアルテイストのオフィスとなるよう、オーナー様と共に創り上げた。



他社設計事務所さんの
物件も施工しています。



今回は平素よりお世話になっています建築設計室アーキスタジオ様設計の竣工例を紹介します。アーキスタジオ様をはじめ、多くの設計事務所様よりお声掛けを頂き、東海・ビルドが施工を手掛けています。それにより多くの事を吸収できる貴重な機会と捉えています。

建築業界全体の相場感や意匠、構造などの考え方、デザイン性を吸収でき、施工の納まりや部材選定、コスト感、トレンド等も勉強になります。

設計事務所様は基より、設計士個々の特色や思考が垣間見えて大変参考になります。

東海・ビルドグループは大きく分けて、設計事務所であるビルド建築設計室/アーキビルド株式会社と工事部門である株式会社東海・ビルドに分かれています。



ビルド建築設計室/アーキビルド株式会社にとっても他社の設計士の方々との繋がりを深め、個々のスキルを伸ばすためにも他社設計事務所様の物件を施工することは重要だと考えています。

これからも東海・ビルドグループの品質に磨きを掛けて、質の高い設計・施工を目指していきます。





2023年、東海・ビルドが手掛ける高級賃貸マンションが天白区御幸山に誕生。限定10邸のプライバシーとラグジュアリーを兼ね備えた居住スペース。詳細はHPにて順次公開します。



賃貸マンション 経営見学会

名古屋市
天白区

2023.6 下旬

完全
予約制

<仮称> HILL TOP 御幸山

●敷地面積:1556.8㎡(470.93坪) ●用途地域:第1種低層住居専用地域 30%/100% ●法規制:宅造規制区域、都市機能誘導杭域外、居住誘導区域内、外壁後退1.5m(道路側2.0)10m高度地区 ●構造:鉄筋コンクリート造(ラーメン構造+壁式) ●階数:3階建 ●施工床面積:1568.32㎡(474.41坪) ●間取り:1LDK 73.60㎡、1LDK+a 99.41㎡、2LDK 86.76㎡(4戸)、2LDK 149.80㎡、3LDK 88.85~107.43㎡ 計10戸



研修旅行

⑩ 軽井沢

5月の中～下旬にかけて軽井沢に研修に行きました。今回は3つの班に分かれての研修です。レンタサイクルで街中を自由に散策するというプログラムもあり、見たいもの、行きたいところをそれぞれが思うがままに廻りました。ここでは、研修旅行で訪れた建築の一部をご紹介します。



1 軽井沢千住博美術館

<設計/西沢立衛>

地形に合わせてゆるやかに傾斜していく、ランドスケープのような美術館。千住博氏の作品の世界観とガラスのシリンダーから入る光と緑が織りなす空間を、回遊式庭園のように歩き回りながら体感しました。敷地の起伏がそのまま残っているのが歩いて心地良い建築でした。



5 セゾン現代美術館

<設計/菊竹清訓>

森林の中の彫刻作品を巡る回遊式庭園と、森に溶け込むような低層のRC造の建築に、様々な現代アートが展示されています。「森の中、アートと呼吸する」を体現した美術館でした。



2 軽井沢タリアセン ペイネ美術館

<設計/アントニン・レーモンド>



塩沢湖の畔に佇む、赤い板張りの小屋。柱梁を丸太で組んでいた、2階に上がるのがスロープであったり、今見ても独特な建築です。もともとはレーモンド自身のアトリエ、

「軽井沢・夏の家」を移築されたもので、その当時の記憶がよく残っているようでした。タリアセン内にあるウィリアム・メレル・ヴォーリズが設計した睡鳩荘も見どころです。

6 小海町高原美術館

<設計/安藤忠雄>



扇形の展示室や折り返しのスロープ等、幾何学的な平面を巧みな動線で回遊するRC打放しの美術館。傍には展望台があり、清々しい景観の中に安藤建築を眺めることができます。

3 石の教会/内村鑑三記念堂

<設計/ケンドリック・ケロッグ>

何とも異様な外観。アーチ状の石板がドミノ倒しのように連なっています。オーガニック建築を謳うだけあり、洞窟のようなアプローチから木漏れ陽が差し込む大聖堂まで自然を肌で感じられる建築空間です。



7 中村キース・ヘリング美術館

<設計/北川原温>

ポップ・アーティストとして有名なキース・ヘリングの作品のための美術館。「闇から希望へ」というコンセプトが表すように、展示内容と空間体験がシンクロするようになっています。



4 田崎美術館

<設計/原広司>



雲形の屋根、ギザギザの壁面、トップライトから架構を照らして落ちてくる光等、原広司氏ならではの造形が凝縮された建築。中庭を見ると自然と建築の調和が面白い。自然光を展示空間に入れるという発想も当時では珍しかったそうです。

8 八ヶ岳美術館

<設計/村野藤吾>



ドームがいくつも連なった外観が木々の間から垣間見えます。内部はドーム型の天井にカーテンが吊られ、外からの光を柔らかく拡散し、展示された彫刻を引き立てます。館長さんからもこの美術館について詳しくお話して頂きました。

高校生 インターンシップ



3人の高校生が3日間で建築設計を体験するというインターンシップを受け入れた。専門知識を持たない普通科高校に通う3年生なので、「施主様の夢を実現する」事に焦点を絞り実施。

1 これからの皆さんは「界」に捕らわれず動いて、「建築設計界」で施主様の夢を実現しなければならない。そのためには自身の軸となる理論をしっかり持たねば逆以外の「界」から得た情報や人脈に振り回されて終わる。

2 具体的な事例として東海・ビルドが設計施工を行った住宅の設計過程を説明。
この中で講師の森が軸とする理論説明
・「古美る」とSDGs
・不連続統一とダイバーシティ
この2つが実際にどのように設計に生かされて施主様の夢を実現することに繋がったかを説明し、議論と質疑応答。

3 簡単な自身の理論を設定して、いろんな「界」から仮定の情報を得たとし、これを使って自分の夢を実現する住宅を設計してみよう。といったプログラム。



自分の家を仮定の情報や自身の理論に基づいて設計する作業は難しいながらも楽しんで行い、三者三様の個性的な案を見せてもらえてとても新鮮な経験をさせてもらった3日間でした。

「ありがとうございました。」と言って帰って行った3人ですが「こちらこそ、ありがとうございました。」

